

変わる車、変わるメンテナンス、最新動向を学ぼう！

TPMS初期化・登録方法一例



初期化・登録が必要になるケースは？

タイヤ交換・ホイール組み換え時、車種によってはタイヤローテーションにて前後左右入れ替え時にも発生します。

初期化・登録にはスキャンツールが便利



トヨタ カムリAXVH70系 システム登録方法

タイヤ空気圧モニタリングシステムの初期化・登録方法は整備マニュアルを参考にすれば手動でも出来ますが、出来ればスキャンツールを使って作業した方が時間的にも早くなります。

スマートダイアグ製のスキャンツールを使った登録方法をトヨタカムリ（AXV70系）を例に紹介します。



スマートダイアグ製：スキャンツール



トヨタ カムリAXVH70系

前作業

- ・タイヤ空気圧警報バルブ/送信機IDはタイヤ空気圧警報バルブ/送信機に記載されています。ホイールを組む前にIDを記録してください。

タイヤ空気圧警報 ECU/受信機を交換する場合

- ・交換する前にタイヤ空気圧警報ECU/受信機に登録されている全てのタイヤ空気圧警報バルブ/送信機の現在のIDおよび現在登録済みの送信機付きタイヤの本数(4又は5本)をTPM-Rで読取り記録しておきます。
- ・TPM-Rで登録されたIDの読取りが不可能な場合は、ホイールからタイヤを外しタイヤ空気圧警報バルブ/送信機に記載されているIDを確認します。

タイヤ空気圧警報バルブ/送信機を交換する場合

- ・タイヤ空気圧警報バルブ/送信機に記載されている7桁のIDコード(送信機ID)を記録します。



1. タイヤ空気圧バルブ/送信機ID登録

参考



- ・登録が完了すると以前登録されていた全てのIDは消去されます。
- ・タイヤ空気圧警報バルブ/送信機IDの登録が**300秒以内**に完了しない場合、登録はキャンセルされます。

1.

全てのタイヤ空気圧を規定圧に調整します。イグニッションスイッチがOFFである事を確認してTPM-Rを車両に接続し、イグニッションスイッチをONにします。



2.

『メーカー選択』画面から〔国産乗用車〕 - 〔トヨタ/レクサス〕を選択して[ENTER]を押します。

メーカー選択		Vbat 13.81 V
輸入車	トヨタ/レクサス	
国産トラック	日産/インフィニティ	
OBDII	ホンダ/アキュラ	
HV 整備モード	三菱	
	スズキ	
	ダイハツ	
	マツダ	
	スバル	

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

3.

『地域設定』画面から〔日本〕を選択して[ENTER]を押します。

地域設定		Vbat 13.80 V
日本		
北米		
欧州		
その他		

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

4.

『車両選択』画面から〔自動検出〕を選択して[ENTER]を押します。続いて『ブランド』『車名』『車型』『エンジン型式』、『オプション』画面で年式を正しく選択して[ENTER]を押します。

車両選択		Vbat 13.82 V
自動検出		
手動選択		

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

ブランド	
TOYOTA	

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

車名	
CAMRY HV	

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

車型	
AXVH70	

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

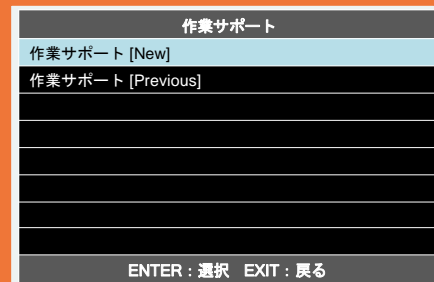
エンジン型式	
A25A-FXS	

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

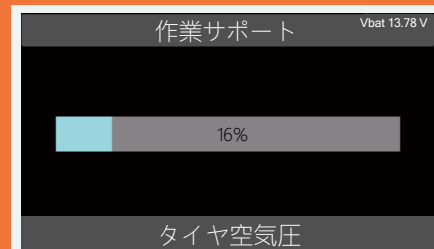
5. 『トヨタ メインメニュー』画面で〔作業サポート〕を選択して〔ENTER〕を押します。



6. 『作業サポート』画面で〔作業サポート〕 [New] を選択して〔ENTER〕を押します。



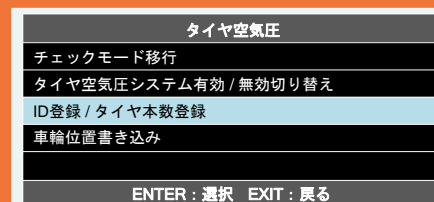
7. 車両搭載システムの確認が開始されます。



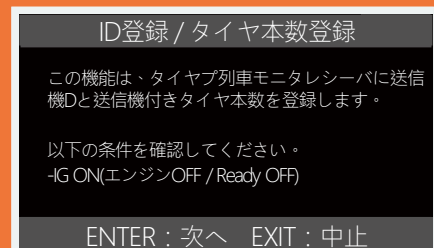
8. 『作業サポート』画面が表示されましたら、〔タイヤ空気圧〕を選択して〔ENTER〕を押します。



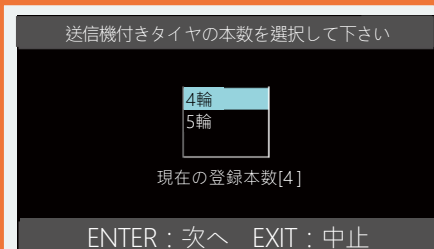
9. 『タイヤ空気圧』画面から、〔ID登録/タイヤ本数登録〕を選択して〔ENTER〕を押します。



10. 条件を確認して〔ENTER〕を押します。



11. 〔4輪〕を選択して〔ENTER〕を押します。





・送信機付きタイヤ本数の設定は、初期値が5輪の場合のみ4輪に変更が可能です。通常時は初期値のタイヤ本数で設定を行います。

12.

上下左右矢印ボタンを使用して記録した送信機IDを入力して[ENTER]を押します。同じ作業をそれぞれ行います。



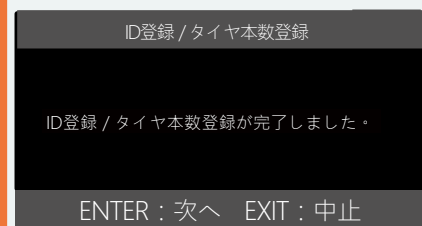
13.

入力した送信機IDが表示されます。確認して[ENTER]を押して登録を行います。



14.

ID登録 / タイヤ本数登録が完了しました。



15.

登録が完了しましたら[ENTER]を押して終了し、『トヨタ メインメニュー』画面まで戻ります。



2.ID登録確認



- ・タイヤ空気圧のデータ更新には2～3分程かかる場合があります。データが受信されない場合は故障コードC2121/21からC2124/24の診断手順に従ってトラブルシューティングを行います。
- ・IDが登録されていない場合3分以上経過すると故障コードC2171/71が記憶されます。
- ・正常なタイヤ空気圧が表示された場合、ID登録は正常に完了しています。
- ・数分後に正しいタイヤ空気圧が表示されない場合、IDが正しくないかシステムが故障しています。
- ・全てのIDを登録した後、故障コードC2126/26が記憶されタイヤ空気圧警報ランプが1分間点滅後点灯します。登録したデータがECUに送られると故障コードC2126/26は消去されタイヤ空気圧警報ランプが消灯します。

1.

『トヨタ メインメニュー』画面から〔診断〕 - 〔シャシ〕 - 〔タイヤ空気圧〕を選択し[ENTER]を押します。



2. [データモニタ] を選択し [ENTER] を押します。



3. [データモニタ] 項目の [送信機1タイヤ空気圧] (ID1タイヤ空気圧) から [送信機4タイヤ空気圧] (ID4タイヤ空気圧) までを選択、またはすべてを選択し [ENTER] を押します。

表示項目選択 (30)	
<input type="checkbox"/>	送信機4登録コード
<input type="checkbox"/>	送信機4登録コード
<input checked="" type="checkbox"/>	送信機1タイヤ空気圧
<input checked="" type="checkbox"/>	送信機2タイヤ空気圧
<input checked="" type="checkbox"/>	送信機3タイヤ空気圧
<input checked="" type="checkbox"/>	送信機4タイヤ空気圧
<input type="checkbox"/>	送信機5タイヤ空気圧
<input type="checkbox"/>	タイヤ空気圧警報閾値 (下減)

4. 各輪のタイヤ空気圧を30秒以内に40kPa(0.4kgf/cm²)以上急減圧させ [送信機タイヤ空気圧] データが更新され実際のタイヤ空気圧を表示することを確認してください。

データモニタ	
送信機1タイヤ空気圧	220.16 kPa
送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa
送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa
送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa

5. すべてのタイヤ空気圧データが更新されることを確認した後、タイヤ空気圧を規定圧に調整しステアリングパッドスイッチASSYを操作して初期化します。

初期化はイグニッションONでステアリングパッドスイッチASSYを操作してマルチインフォメーションディスプレイ内の「初期化」を選択しタイヤ空気圧警報ランプが3回点滅するまでOKスイッチ(ステアリングパッドスイッチASSY)を押し続けます。その後イグニッションスイッチをOFFにします。

参考



- ・N/Aを表示している場合はデータが受信できていません。
- ・タイヤ空気圧データ更新には2～3分程かかる場合があります。
- ・送信機1から4のデータモニタからは車輪位置を特定することはできません。

3. 車輪位置識別および車輪位置書き込み

1. ID登録確認の手順1～3まで進みます。各輪のタイヤ空気圧を30秒以内に40kPa(0.4kgf/cm²)以上急減圧させデータモニタの値を確認します。

データモニタ	
送信機1タイヤ空気圧	220.16 kPa
送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa
送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa
送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa

参考



- ・タイヤ空気圧データ更新には2～3分程かかる場合があります。
- ・送信機タイヤ空気圧データが変化しない場合は、タイヤを90°から270°回転させ再度確認作業を行ってください。

2.

データモニタのタイヤ空気圧の変化から減圧したタイヤのタイヤ空気圧警報バルブ/送信機がID1～ID4の内どれなのかを特定し記録します。

- ・送信機 1 タイヤ空気圧(ID1のタイヤ空気圧)
- ・送信機 2 タイヤ空気圧(ID2のタイヤ空気圧)
- ・送信機 3 タイヤ空気圧(ID3のタイヤ空気圧)
- ・送信機 4 タイヤ空気圧(ID4のタイヤ空気圧)

1輪ずつ繰返し行い、特定できたらタイヤ空気圧を規定値に調整します。

データモニタ	
送信機1タイヤ空気圧	170.28 kPa
送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa
送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa
送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa



3.

『トヨタメインメニュー』画面に戻り〔作業サポート〕 - 〔作業サポート [New]〕 - 〔タイヤ空気圧〕 - 〔車輪位置書き込みを〕選択して[ENTER]を押します。

タイヤ空気圧	
チェックモード移行	
タイヤ空気圧システム有効 / 無効切り替え	
ID登録 / タイヤ本数登録	
車輪位置書き込み	
ENTER : 選択 EXIT : 戻る	

4.

条件を確認して[ENTER]を押します。

車輪位置書き込み	
この機能はタイヤの車輪位置を手動で書き込みます	
以下の条件を確認してください。	
-IG ON	
-ID登録済み	
-実行中に初期化Wを押下しない	
ENTER : 次へ EXIT : 中止	

5.

手順を確認して[ENTER]を押します。

車輪位置書き込み	
次の画面で、車輪位置を正しい状態に変更後、「書込」を選択して下さい。	
車輪位置を変更するには、変更対象の項目を選択してください。	
ENTER : 次へ EXIT : 中止	

6.

ID1からID4が表示されます。

車輪位置書き込み	
ID1 : 26F5DD2[判定中]	
ID2 : 26F5DE2[判定中]	
D3 : 26F5DD9[判定中]	
ID4 : 26F5E08[判定中]	
書込	
ENTER : 選択 EXIT : 戻る	

7.

ID1からID4それぞれに車輪位置(FL/FR/RL/RR)を割当てます。

ID1 : 26F5DD2 [判定中]	
変更値 :	
	FL
	FR
	RL
ENTER : 選択 EXIT : 戻る	

8.

それぞれの ID の車輪位置に間違いがないか確認してください。間違いがなければ〔書込〕を選択して[ENTER]を押します。

車輪位置書き込み	
ID1 : 26F5DD2[判定中]	
ID2 : 26F5DE2[判定中]	
D3 : 26F5DD9[判定中]	
ID4 : 26F5E08[判定中]	
書込	
ENTER : 選択 EXIT : 戻る	

9.

車輪位置の書き込みが完了しました。[ENTER]を押して終了し『トヨタメインメニュー』画面に戻りイグニッションをOFFにしてTPM-Rを取外してください。

車輪位置書き込み	
車両位置書き込みが完了しました。	
ENTER / EXIT : 終了	